サステナブルを“ダイヤモンド”のチカラで

SUSTAINABILITY BOOKLET

サステナビリティブックレット

旭ダイヤモンド工業株式会社
Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

ダイヤモンド工具のチカラを通じて、社会に新たな価値を創造する

モノづくりを通じて、社会の「できないをできる」に変える

当社グループは「グローバルダイヤモンド工具メーカー」として、創業以来、世の中の変化に対応し、あらゆる産業のモノづくりに貢献することで、社会の発展を支えてまいりました。1937年の創業から85年を迎え、グループとしては 2,000名以上の従業員と共に世界12ヶ国で製造・販売を行っております。当社グループが扱う「ダイヤモンド工具」とは、世の中で最も硬い素材とされるダイヤモンド及びCBNを使用した工業用工具で、電子・半導体、輸送機器、機械、石材・建設などの非常に幅広い分野のモノづくりにおいて用いられます。切る、削る、磨く、穿つといった様々な加工を可能にする工具であり、ダイヤモンド工具はあらゆる産業においての様々な「できないをできる」に変え続けてきました。

当社がダイヤモンド工具メーカーとして、創業した当初、ダイヤモンド工具は国内では海外製品が主流でした。昭和初期における産業の発展において徐々に高まる需要を予測した先見性が、当社の歴史が始まったきっかけとなります。創業後からこれまで、当社は時代を反映しチャンスもピンチもその都度真摯に向き合い、乗り越えてきました。高度経済成長を経て、バブル景気の崩壊、リーマンショックなど、企業として未曽有の危機にひんした時期もありました。それでも、ダイヤモンド工具という当社の本業は、時流に即して変化・拡大させることで、社会から必要とされるものであり続けました。

ダイヤモンド工具の価値を最大化させ、社会に還元する

当社グループが提供するダイヤモンド工具は、継続的・長期的に使用できる製品です。一般的にダイヤモンド工具は、その他の工具と比べて数倍～数十倍もの長い寿命があります。また、長期間にわたって使用できるだけではなく、高能率で素早い加工ができるため、結果として製造現場での省エネにも繋がります。このようにダイヤモンド工具には、お客様の環境負荷軽減や、生産性向上に貢献できるというメリットがあります。

昨今、多くの企業が、持続可能な社会の実現のため、事業を通じた社会課題の解決を目指すようになってきました。当社製品の性能が向上すれば、幅広い分野のお客様自身のモノづくりに貢献でき、さまざまな社会課題の解決につながっていくと信じています。また、変化の早いこの時代に求められるのは、イノベーションです。当社の工具はそのイノベーション実現に不可欠な役割を担っており、鍵となる存在となり得ます。

ダイヤモンドにこだわり続ける私たちの姿勢は、いつの時代も変わりません。これからもダイヤモンド工具のポテンシャルを広げ、さまざまな用途開発を実現させるプロフェッショナル集団であり続けます。人を育て、技術を磨き、社会の「できないをできる」に変え続ける企業として、これからも歩み続けてまいります。

代表取締役社長
片岡 和喜

サステナビリティポリシー

当社グループは、経営理念や行動憲章に加え、すべての事業活動の根幹として、役員や従業員の一人ひとりが実践し社会へ貢献するために守るべき基本的事項として、このサステナビリティポリシーを定めております。このポリシーに則って、グループの将来への継続的で健全な発展・成長を遂げるため、企業倫理やコンプライアンスを徹底し、適切に行動いたします。

詳細はホームページへ

人権
- 人権尊重・差別待遇の禁止
- 多様性の確保と受容
- ハラスメント(嫌がらせ)の禁止
- 強制労働・児童労働の禁止
- 労働基本権の尊重

社会
- 社会的要請への適応
- 地域コミュニケーション・社会貢献
- 反社会的勢力との関係遮断
- 政治との関係性

労働環境
- 労働法令の遵守
- 安全衛生の確保
- 働きがいのある職場づくり

地球環境
- 環境法令の遵守
- 地球環境の保全
- 自然共生社会への貢献

顧客・取引先
- 贈収賄の禁止
- 節度ある接待・贈答・招待
- パートナーシップ

製品・サービス
- 品質に関するルールの理解と遵守
- 安全性と信頼性の確保
- 顧客目線での製品・サービス提供

公正取引・国際取引
- 公正な取引
- 優越的地位の濫用の禁止
- 国際取引における行動規範の尊重
- 輸出入関連法令の遵守
- 紛争鉱物の不使用

情報開示
- 適時適切な情報開示
- 財務報告の適正性確保
- 税務申告の適正性確保
- インサイダー取引の禁止

資産の保全・管理
- 資産の保全・管理
- 知的財産権の保護
- 情報の適切な管理と活用
- 情報システムの保護

役員・従業員の義務
- コンプライアンスの実践
- 経営層の責任
- 利益相反行為の禁止
- 法令等違反行為への対応
- 危機管理・事業継続計画

旭ダイヤの考え方と、3つの提供価値

SDGs とは

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された2030 年までに「持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」です。

旭ダイヤの経営理念

経営理念

モノづくりをもっと面白く

当社グループは、「できないをできる」に変え、
あらゆる産業のモノづくりに貢献し、社会の発展を支えてきました。
テクノロジーの進化が加速しているモノづくりの現場では、
日々困難な問題に取り組んでいます。
解決の糸口は、「面白く」
ユニークな技術やソリューションは、未来の大きな進歩に夢を
馳せるワクワク感から、いつも生まれてきます。
私たちは、お客様と共に「モノづくりをもっと面白く」し、
社会の発展に貢献していきます。

目指す姿

唯一無二
One and Only

世界の変化を先取りし、革新的技術とグローバルな組織力で、当社にしかできない製品・ソリューションを提供し続けます。

永続的な成長
Eternal Growth

モノづくりに携わる全世界のお客様から最も頼られる存在となり、永続的に成長する企業を目指します。

働きがい
Job Satisfaction

仕事のやりがいを個々の成長に結び付けて持ち味を引き出し、全従業員がいきいきと働く企業を目指します。

行動指針

チャレンジ
Challenge

顧客志向
Customer

ボーダレスな連携
Cooperation

持ち味を生かす
Character

スピード
Speed

4 つの取引業界

提供する社会的価値

これまでできなかったことを実現し、モノづくり力向上に貢献

私たちが提供するダイヤモンド工具は、確かな品質のもと高能率な加工を実現させ、モノづくりの生産性向上に貢献しています。

ダイヤモンドには「硬さ」という大きな特徴があり、今まで切れなかった素材を切ることができたり、今まで以上にきれいに磨くことができたりします。お客様の求めるもの以上の成果を出すためには粘り強く開発やテストを繰り返す必要があり、それらを達成すべく私たちは挑戦し続けます。

ダイヤモンド工具は、モノづくりを下支えするのはもちろん、世界のモノづくりの発展をリードする可能性を秘めている存在です。

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

あらゆる製造現場の要望に応え、身近な生活に貢献

私たちが提供するダイヤモンド工具は、スマートフォン、自動車、産業用機械など多種多様なモノづくりに貢献しています。様々な製品が作られる上流から下流までの製造工程でダイヤモンド工具は使用され、より高性能でより便利な製品が世に送り出されており、産業界だけでなく、全ての消費者の身近な生活を支えています。その源泉となるのが、技術力であり、永年の技術の蓄積と継続的な人材育成であると考えています。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

ダイヤモンドならではの特長で環境に貢献

私たちが提供するダイヤモンド工具の特徴として、その他の工具に比べて長寿命かつ早く加工できることがあります。お客様の製造現場において、廃棄物が少なく、リサイクルすることができる製造環境を提供できることは、当社のダイヤモンド工具だからこそ提供できる価値です。また、高能率な加工により作業時間の削減にもつながります。お客様の製造現場が省エネルギーになることやリサイクルができるようになることは、一つ一つは小さいことかもしれませんが、その積み重ねが地球環境の保全へ貢献しています。

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

12 つくる責任 つかう責任

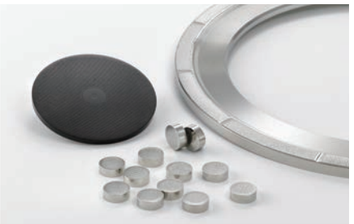
サステナビリティへの取り組み

お客様への取り組み

品質への取り組み

当社グループでは、ISO9001の認証取得や、国内6か所に生産拠点を構えることで、安定的に高品質な製品を提供するための生産体制を構築しています。さらに、海外の生産拠点とも連携し、拠点間の技術交流を積極的に実施しています。

また、製造部門では、品質上の問題が発見された際に、製造工程ごとに原因を究明し、技術部門と協調しながら品質の向上につなげております。



安定供給への取り組み

購買から生産、検査を経て完成品をお客様に納品するまで、すべての工程で安定供給するための仕組みを確立しています。

原材料購入では、サプライヤー評価・二者監査・グリーン調達ガイドラインへの適合確認をしたサプライヤーと取引する仕組みを整えています。将来的に品質面や供給面、価格面で調達が困難となる可能性のある品目については、複数のサプライヤーから購買し、リスク分散を図っております。

また、製造装置についても定期的メンテナンスを徹底し、精度の高さを保つために管理を徹底しています。

お客様満足度向上に向けて

当社製品のほぼ全てがお客様からの受注生産です。お客様にとって価値ある製品を提供することが最も重要であり、お客様の元にお届けしてご満足頂くまでが当社の生産プロセスであると考えます。

そのため当社では、お客様の多様なニーズにお応えするために、技術者自身がお客様へ出向き、ご要望を直接お伺いする技術サービスを行っております。いただいたお客様の声は、「より良い製品開発」や「サービスの向上」に繋げられるよう改良に努めています。

新たな製品開発

当社の製品開発の意義は、「生み出した製品を通じて、“お客様のモノづくり力の向上”や“産業の発展”を実現すること」であると考えています。

お客様に評価され選ばれ続ける製品であるために、お客様のご要望をどのような技術で実現するか、どのような製品でお客様の役に立つことができるかを基盤として、取り組んでいます。

従業員への取り組み

安全に対する取り組み

当社は、安全かつ衛生的で心身ともに健全に働ける快適な職場環境が事業活動の基盤であり、継続的に改善に取り組むことに責任があると考えています。

サステナビリティポリシーの「安全衛生の確保」に基づき、安全衛生活動を推進し、問題点や課題の解決を図り、継続的な改善を行っています。また、安全衛生委員会による安全パトロールを継続展開し、職場の安全衛生の確保に努めています。

人材育成・社員教育

当社では、従業員一人ひとりが成長することこそ会社の成長につながると考え、人材育成の方針としています。管理職、中堅、若手、新人に分けた「階層別研修」を実施することで、階層毎に必要となる「ものの見方・考え方」を学び、自らの行動の変革を後押しします。また、職種別に必要な知識・スキルを習得するための「職種別能力開発」も行うことで、従業員がそれぞれのフィールドで活躍できるよう、成長を支援します。

近年では、真のグローバル企業を目指し、社内はもちろん海外のグループ会社との技術研修を継続的に行い、国際間のつながりを大切にしています。今後も専門性を高く保ちつつ、多方面でのエキスパートを育てていきます。

働きやすい職場づくり

当社は企業における主役は「人」であると考え、従業員が企業活動に参画することを通じて自己実現できる企業となることを目指しています。従業員の多様な価値観を認め、性別、年齢、国籍、人種、宗教、学歴などによる差別のない、個性を活かし能力を発揮できる場を提供しています。

従業員一人一人の個性が尊重される働きやすい職場を保つために、旭ダイヤでは、提案制度による社員表彰や、仕事の知識・行動力を向上させるための勉強会、社内報による職場の情報共有などを実施しております。

環境への取り組み

CO_2排出量削減

当社では、環境マネジメントシステムを構築し、国内全工場でISO14001の認証を取得しています。

また、「グリーン調達ガイドライン」を通じて環境にやさしい製品づくりを進めています。温室効果ガス（CO_2）排出量削減に全社で取り組み、従業員に対しても環境教育や啓蒙活動を行うなど中長期的な環境対策に努めています。国内の複数工場においても太陽光発電設備を設置し、CO_2排出量の削減に努めています。

廃棄物削減への取り組み

当社では、循環型社会の実現に向け、廃棄物削減に取り組んでいます。廃棄物の適正処理だけでなく、リサイクルを進めるなど地球環境に配慮したモノづくりを実現しています。

[主な活動実績]

- 加工機の研削液を浄化し、廃液量の適正管理
- 製品輸送の際、繰り返し使用可能な通い箱の使用
- 電子文書化による紙資源削減

地域社会への取り組み

次世代育成

当社では、次世代教育の推進、地域共生の推進についても重要課題としています。次世代を担う子どもたちへ、モノづくりの楽しさを伝え、将来的にモノづくりへ携わる人材を育てていきたいと考えています。

地域との連携

当社グループは、社会貢献活動および環境保全活動の一環として、各工場周辺の清掃活動を定期的に実施しています。今後も地域社会の一員として、美化活動に積極的に取り組み、地域の環境保全を推進します。

[主な活動実績]

- 近隣小学校の社会科見学受け入れ
- インターンシップ受入
- 献血への協力
- 工場内の緑化
- 会社施設（野球場等）の地域開放

災害時対策

当社では、「BCP/BCM活動方針」に基づき、企業活動に大きな被害を及ぼすおそれのある大地震などの自然災害や大規模な事故が発生した場合は、事業活動を継続ないしは速やかに復旧するために、緊急時中央対策本部を中心とした体制を構築しています。甚大な災害や事故が発生した際には、まず早期に再開すべき重要な事業／業務を明確化します。加えて、事業継続を脅かす脅威やリスクを評価し、不測の事態発生時の対応計画を明確化しております。

また、継続的な教育・訓練の実施等により、組織の危機対応力向上に努めています。

会社概要

旭ダイヤモンド工業株式会社
Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

設立	1937年（昭和12年）10月9日	資本金	4,102百万円
代表	代表取締役社長 片岡 和喜	所在地	東京都千代田区麹町2－4－1 麹町大通りビル13階